

第6回高齢者部会

日 時 平成22年12月11日(土) 午前10時00分
場 所 川崎区役所7階第1会議室・川崎駅周辺
午前 10時00分 開 会

出席者(敬称略)

委員 5人

星川孝宜、猪熊俊夫、田辺富夫、富田順人、吉野智佐雄

1 開 会

事務局 <会議開催の事前公表、会議録の開示、傍聴の遵守事項、会議の記録、広報としての写真撮影、配付資料を説明>

2 議 題

(1) 川崎駅周辺視察

(川崎駅周辺を視察)

部会長 それではまず、今川崎駅周辺を視察してきましたが、皆さんの感想をお伺いしたいと思っております。

委員 私が気付いたことは3つありました。まず1つは、銀柳街の寿司屋の前に、あくまでもお客様の順番待ちのためということらしいですが、ベンチが置いてありました。このようなベンチが他にも欲しいと思います。2つ目は、市役所通りや新川通りにある緑地帯は本当に必要なものなのかと思っています。場所によっては緑地帯のスペースが駐輪場になっているところもありますが、同様にトイレを設置してはどうかと考えました。3つ目は、新川通りに「ここの避難場所は宮前小学校です」という看板が立っていましたが、宮前小学校がどこにあるのかをすぐにわかる市民がどれくらいいるのか疑問です。簡単な地図を付けた方が親切だと感じました。このほか感じたことは、バス停がなぜ交差点の前に設置されているのかということです。例えば、新川橋病院に行くために新川橋バス停留所で降りると、新川橋交差点を渡らなければなりません。だからと言って次の貝塚バス停留所まで行くと、200メートルほど戻ってこなければならない。これでは、体の弱い人にとっては不便だと思います。

部会長 ありがとうございます。それでは次の方をお願いします。

委員 トイレについては、さいか屋～資料1の⑦エンゼル川崎付近の間に1カ所、それと⑦～区役所までの間に1カ所設置し、それに付随してベンチも併せて設置していただきたいと感じました。そして第2期からお願いしていることですが、道路の段差の問題については、写真に収めてきたので、後日お見せできればと思っています。次に、けやき並木ですが、これも写真に収めましたが、支えるためのワイヤーロープが木に食い込んでしまっています。早急に対処してあげないとかわいそうだなと思っています。それに風が吹いたときなどは倒木の危険なども出てきてしまうと思います。木が成長するほど、ワイヤーロープの円が幹の太さよりも小さくなってしまい、木の成長の妨げになってしまっているのでは何とかしてほしいと思います。

部会長 この件について、これまで行政側と話合いの場を持って、何か回答があったことなどはあるのでしょうか。

委員 特にありません。したがって何とか区民会議で取り上げてもらいたいと思っています。ちなみに、市役所通りの銀杏も同様の跡が見られています。

部会長 ありがとうございます。それでは次の方をお願いします。

委員 稲毛神社の広場についてですが、公園の中に自転車通路用の白線を引いて、休憩する場所と自転車が走る場所を明確にしてほしいです。ただし、白線が引いてあったかをちゃんと見てこなかったのが、白線の有無については定かではありません。次に、銀柳街の中で「自転車は降りて通行してください」という看板が出ていましたが、なかなか守られていないのが現状であるため、強制的に自転車から降ろさせたり、通行させないなどの手法が必要なのではないかと感じました。それと、自転車については、たいへんに難しいことは承知していますが、国道15号線から川崎駅までの内側については、自転車は入れさせないといったぐらいの対策をとっても良いのかとも思います。その代わりに、川崎駅周辺についてはシャトルバスを頻繁に走らせることで対応してはどうだろうかとおもいます。今日は土曜日にもかかわらず、午前中の段階で便利な場所の駐輪場は既に満杯状態でした。そうすると歩道に自転車が溢れてしまい、歩くのに危険な状態となってしまいます。そういう意味でも、できるかどうかわかりませんが、国道15号線から内側に自転車を入れないという方策を取るしかないのかなとおもいます。

部会長 土曜日でも早い時間帯で駐輪場が満杯になる理由は何なのでしょう。

委員 通勤者の自転車です。

部会長 ということは、夜になるとちゃんと空くのでしょうか。それとも放置された自転車などが夜もそのままになっていたりするのでしょうか。

委員 そう言われれば、それほどきれいに空いてはいないです。ということは通勤者の自転車だけではないのかもしれませんが。

部会長 ありがとうございます。それでは次の方をお願いします。

委員 稲毛神社のトイレですが、自分が想像していたよりは綺麗だったなという印象を持ちました。それと身障者用のトイレに鍵が掛かっていたのですが、何故なのか不思議に感じました。ただ、このようなトイレがこれぐらい綺麗な状態を保つことができれば、市役所通りと新川通りに現在の緑地帯を活用して、各1カ所程度設置しても良いのかなと思いました。

事務局 実は、あのような大きさだと、ホームレス等が住み着いてしまう恐れがあります。

委員 公衆トイレの場合、住み着き防止策も兼ねて、夜間に床も含めて自動的に水を流して、清掃を行っています。

委員 トイレに鍵を掛けて、必要な時に行政に連絡するということでは、これは事実上使用禁止のような状態だと思います。少し話が変わりますが、川崎駅のバス乗り場では、タクシー乗り場に行くのにインターホンを押すと、アゼリアの警備員が来て、鉄柵などを開けてエスコートしてくれるのですが、5分程度待ちます。ただ、人によってはこの待ち時間が嫌だという人もいます。そう考えた場合、電話をかけて川崎区役所から稲毛神社に来てトイレを開けてくれるまで、5分以上はかかると思われるため、身障者用のトイレを使うなどと言っているようなものだと思います。

事務局 確かにほとんど使われていません。待っている間に区役所に来ることができてしまいます。

委員 次に段差の問題ですが、全ての段差の高さが統一されているならまだ良いですが、歩道によって段差の高さが違うところがありました。高齢者が安心して歩くことができるようにするためには、段差をなくすか、もしくは段差を統一する必要があると感じました。また案内板の問題では、商店街で大地震が起きた時に、例えばアーケードが潰れてしまった場合にはどうするのかと心配してしまいます。現在の川崎駅東口

再編についても避難場所等の案内板についてちゃんとやってほしいと伝えているところです。

委員 銀柳街の場合、天井にステンドグラスがあるので、それが割れて落ちてきたら大変なことになりますね。

委員 そうです。商店街は実はいろいろと危険な箇所があります。チネチッタのアーケードは、私が会長になってから撤去しました。撤去費用は相当かかったのですが、老朽化していて非常に危険だと判断したので、やっつけてしまおうということになりました。今では正解だったと思っています。それと、やはり自転車がスピードを出して歩道を走っていることを何とかしなければなあと改めて感じました。最後にバスの件ですが、先ほど視察した時に気付いた砂子1丁目のバス停を通るバスですが、1日2本、旧東海道を走る殿町行きのバスになっています。

事務局 路線を廃止した場合、新たに認可されるのはかなり難しいので、本数が少なくとも路線を維持しておくということだと思います。

部会長 皆さんありがとうございました。最後に、私が感じたことをお伝えしますと、稲毛公園のトイレですが、委員の皆さんからは「意外と綺麗だった」という感想をいただきましたが、私の場合はこの程度でよいのかなあという印象を持ちました。特に女性の場合、好んで利用する状態にあるのかと言えば、そうではないと思います。私の勤務地は千代田区ですが、千代田区は全国から観光客が集まるため、公衆トイレがたくさんあり、また立派な造りになっているものも多いです。しかしあまり利用されていません。行政が関わってトイレを設置する場合、利用率とコストを踏まえた上で検討していかなければならないと思っています。それと設置した場合には、利用したくなるようなトイレの状態を保つ必要があります。もちろん利用する人の問題もあるかと思いますが、維持・管理していくことは結構難しいかなとも感じています。次に歩道の段差の問題についてですが、富田委員に教わりながら、体の不自由な方が移動するには問題な箇所がいくつかあるなと感じながら歩いてました。実のところ私は、普段歩いている時にはそれほど段差について認識をしていませんでした。感じるとすれば、自転車に乗っているときぐらいでした。段差については立場によって考え方が異なってくるのかなと感じています。例えば、段差があることによって、自転車はスピードダウンしますし、水の流れを考慮して段差を考える人もいるでしょうし、今後大いに議論していく必要があるテーマだと思っています。あとは皆さんと意見が重複するところが多いので、私の意見としてはこのような感じですか。一通り皆さんから意見を頂きましたが、このほか何かござい

ますか。

委員 稲毛神社についてはトイレの問題よりも、歩道橋の下にちらかっているゴミの問題の方が目に付きました。それと川崎駅を中心に考えると、トイレの問題はないのかなと思っています。川崎駅ビル、アゼリア、さいか屋など、トイレの心配はほとんどないのかなと思います。また最近ではコンビニでも一般の方に開放するようになってきていて、改善されてきていると思います。

委員 駐輪場については、市役所通りはしっかり整備されているが、新川通りはまだ整備されていない場所もあるので、早急に整備してもらいたいです。それと、私はバスを利用することがありますが、自転車が邪魔で歩道に上がれないことがあります。駐輪場を管理している人もいるので、是非とも駐輪場内の自転車の整理もちゃんとしてもらいたいと思っています。

委員 自転車の社会実験を昨年実施しましたが、結果が私たちの耳に入ってきませんが、どうなっているのでしょうか。歩行者や自転車利用者にも評判が良かったはずです。

事務局 結果については、必要に応じて所管課より御報告させていただきます。

部会長 どうしても皆さんの関心が自転車問題に傾いてしまうのですが、今期は自転車問題には触れず、現在挙がっている課題について審議していきたいと思いますので御了解ください。それではここで一旦、昼食休憩を取りたいと思います。

(昼食休憩)

(2) 実施方針(案)について

部会長 それでは改めて審議を始めさせていただきたいと思います。午後は実施方針(案)について審議していきたいと思います。資料2を御覧ください。資料2の内容は、事務局の方で前回の審議を踏まえてまとめてくれています。

事務局 〈資料2、資料3についての説明〉

部会長 それでは審議に入ります。まず、課題解決策の1つ目として「地域の散策、高齢者向けのウォーキングマップ作成」があります。前回、この2つは別々に記されていた

と思いますが、互いに関連していることが多いため、一本化させていただいております。

<資料2：課題解決策「地域の散策、高齢者向けウォーキングマップ作成」の内容を説明>

次に、2つ目の課題解決策「ベンチ・トイレ設置」についても関連する部分があるため、引き続きこちらも併せて説明させていただきます。

<資料2：課題解決策「ベンチ・トイレの設置」の内容を説明>

それでは皆さんの意見を伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員 ベンチ・トイレの設置を川崎駅周辺の商店街だけでなく、区内全域で考えるのであれば、まずはウォーキングコースを設定することから始めていった方が良いのかと思います。そしてコース上にベンチ・トイレを記し、必要であれば新たな設置も検討していく手順が良いと思います。また、コースを設定する場合には、「伝統や文化を伝えるコース」などとするよりは、「俳句の句碑を巡るコース」「古い民家を巡るコース」など、もう少し詳細にターゲットを絞った方が良いと考えています。

部会長 ベンチ・トイレについて区内全域を対象に考えていくのであれば、ウォーキングマップに反映していく方法が良いということでしょうか。

委員 ただ漠然と区内全域というよりは、コース上についてベンチ・トイレの設置を考えれば良いので、具体的になると思います。

部会長 他にいかがでしょうか。

委員 今日は川崎駅前周辺を視察しましたが、それ以外の地区については、例えば富田委員は大島地区、私は小田地区など、担当地域を区切って調べるというのはどうでしょうか。本当に区内全域を対象とすると、ものすごく大変な作業になってくるとは思います。例えば、現在、老人会は多くの人を連れて歩いたりしていますが、当然ベンチやトイレの有無などについても調べた上で歩いているはずだと思います。このような各地域にある情報を収集していく必要があると思っています。

事務局 ベンチ・トイレについては、各地域にある情報を集めて、それをウォーキングマップのコースに落とし込む作業をして、ベンチ・トイレの空白地帯があれば、初めてそ

の段階で新たな設置について検討をするということによいのではないのでしょうか。そうすれば、ウォーキングマップ作成と一緒に取り組むことができ、効果的ではないかと考えます。

委員 田辺委員の方から大島地区をと言われた時に、いろいろと考えてみたのですが、なかなかすぐには自分だけでは思いつかないこともありますので、そういった意味では、既にある情報を集めることは良い案だと思います。また、あれもこれもと一気にやるのは無理なので、まずはウォーキングマップに絞って段階的に進めていくのがいいのではないかと思います。

事務局 危険な箇所については、区内全域を調べるというよりは、高齢者が歩きやすいコースを作成していった方が現実的かなという気がしますが、いかがでしょうか。

部会長 確かに、区内全域の危険な箇所を全て調査しようとする、これだけで相当な作業になるとは思いますが、いかがいたしましょうか。

委員 私の方では、お年寄りが散策するためのコースを持っている人を知っているので、お願いすれば情報を提供してくれると思います。また、まちづくりクラブでも病院などを記したマップを作ったことがあります。

事務局 行政が持っている情報と、皆さんの地域で持っている情報を集めて、出し合う作業が必要になってくるとは思います。

委員 川崎区が作成したウォーキングガイドブックは非常に良くできていると思います。距離や消費カロリーまでも記載されています。せっかく良いものがあるので、ここにあるルートのうち1つを選んで、高齢者部会として段差やベンチ・トイレの有無など、内容を拡充していくやり方はどうでしょうか。

事務局 ウォーキングガイドブックの1コースをモデルコースとして取り上げ、こういった内容をコース内に記してほしいという提言をしてはどうでしょうか。

委員 コースについても有名な場所をつなぐだけのコースだけではなく、もう少し内容を絞ったルートにした方が良いと思います。

事務局 コース内容についても、こういう箇所を巡るコースを追加してほしいという提言

をしていただくこともできます。

部会長 ここで意見をまとめますと、既にある川崎区ウォーキングガイドブックの中からモデルコースを選び、そのコースについて段差やベンチ・トイレ情報などを追加していくということで良いでしょうか。それと危険箇所の調査についてはどうでしょうか。個別の箇所を調べ上げるというよりは、まち全般として「こういう場所にはこのような危険があります」ということをマップの中で伝えていく形でよろしいでしょうか。

委員 私は歩いて調べた方が良いと思います。その地域の人には当たり前になってしまい何とも感じないが、地域以外の人からすると、危険だと感じる箇所があります。

部会長 私たち区民会議員がどこまで行うのかという視点で考えてみたいと思います。例えば、危険箇所探しをするとしたら、実際に誰が調査に出るのかということまで考えなければなりません。改めて整理すると、今出ている意見としては、既存のウォーキングガイドマップを活用しようということですが、1コースだけにするのか、全コースについて情報を追加していくのかについてはどうしますか。仮に改訂版ということで全コースを対象にすると、それだけでも結構大変な作業になると思います。もちろん危険箇所探しについても同様のことが言えると思います。

委員 1コースに絞って調べる形で良いと思います。

事務局 全部をやるのは大変なので、モデルコースを取り上げて調査し、このような方向性で改訂版を作成してほしいと行政に提言していただく形でも良いと思います。

委員 コースが無目的になってしまうのが心配です。

事務局 ウォーキングガイドブックのタイトルにも「かわさき区魅力発見」とあるので、コース内容についても、魅力あるものを提言していただければと思います。魅力というものについても、もっと個別具体的なものを御提示いただければと思います。

部会長 ここで再度、皆さんの意見を整理します。ウォーキングマップを作成していきましようということで、モデルコースを決めて、地区によっては具体的なテーマなどを盛り込み、そこに段差やベンチ・トイレの設置情報を記していくというやり方ということになります。皆さんいかがでしょうか。

一同了解

部会長 モデルコースの選定については、次回以降にしたいと思います。取組スケジュールについてはどうしますか。

事務局 本日の審議を踏まえて、改めて事務局で作成して御提示したいと思います。

委員 1つ確認したいのですが、中央地区の商店街のベンチ・トイレ設置についても、ウォーキングマップ作成と併せて忘れないでください。ベンチ・トイレ設置の議論は、区内全域についてはウォーキングマップ作成でよいかと思いますが、中央商店街については別なものであって、2つの取り組みがあると思っています。

部会長 今の御意見は、先ほど確認したウォーキングマップ作成のほかに、中央商店街についてはそれとは別に取り組みましょうということでしょうか。

委員 別に取り組まないマップ上に反映されてこないと思います。

事務局 ウォーキングガイドブックにある川崎地区で取り上げる形ではだめでしょうか。

委員 銀柳街や新川通りなどは対象地区になっていますか。

事務局 対象になっています。

委員 すみません、気付きませんでした。

委員 今日歩いて必要だと思った箇所については、これから取り上げるモデルコースと別に考えなければならないと思います。本日歩いたコースがマップに反映されずに終わってしまうと忘れられてしまいます。

事務局 先ほどの審議では、テーマ別でいくつかのコースを取り上げていくという話があったと思いますが、その中で今日歩いたコースは見所がたくさんあるところですので、いずれかのコースに盛り込まれていくはずだと考えていますし、必ずいずれかのコースに盛り込むよう提言していただくこともできると思います。

委員 そういうことで良いと思います。

部会長 今回の話は、モデルコースを中央地区にしようということでしょうか。

事務局 そういうことではありません。モデルコースはどこでも構いません。モデルコースを作成するにあたっての方向性や盛り込む情報などを提言していただき、他地区にある複数のコースにも適用してくださいということです。そうすればおのずと今日歩いたコースは網羅されるでしょうということです。そしてベンチ・トイレについても設置ありきではなく、先ほど委員からお話があったように、コース上を調査した結果、コンビニのトイレがあるから必要ないということも十分に考えられます。設置については、その先の議論になってくると思います。

委員 何が何でも今すぐに必要なベンチ・トイレを挙げなければならないのではなく、必要性が出てきた時に提案するということが良いのではないかと思います。

委員 調査した結果、中央地区以外にベンチ・トイレがあつて、中央地区がないとなれば、中央地区はどうなんだという問題提起にもなってくると思いますので、了解しました。

部会長 それでは次に進みたいと思います。次は、活動PRのための「集い」の開催、居場所づくりになります。

<資料2：課題解決策「活動PRのための『集い』の開催、居場所づくり」の内容を説明>

こちらの課題解決策についての御意見はいかがでしょうか。これについては、第1期・第2期でも同様のことに取り組んできました。

委員 地域でも大きいイベントを教育文化会館でやったり、田島支所で老人クラブの方がやったりなど、いろいろとやっていたりします。

部会長 昨年のシニア対象のイベントは、カラーリングの紹介等も含めて開催しましたが、人数確保にかなり苦労したと伺っています。

委員 私がこれについて提案した時には、街中や商店街で開催してみてもどうかと言いましたが、改めて私の周りを見返してみると、これまで文化祭のような催しを行っていた人たちが、最近はやっていないそうです。そう考えると、簡単にはできないのかなと思っています。

事務局 既にいろいろな地域でいろいろなことをやられているので、もしやるとなれば工夫が必要になると思います。

部会長 これについては、課題解決策として取り上げるべきか否かを判断する必要があるのではないかとと思いますが、いかがでしょうか。既に第1期・第2期で実施してきているので、今期は見送るということも考えられるかと思いますが。

事務局 実は、来週の12月17日に、第1期・第2期を受けて取り組んでいるシニア向けのツアーが、吉野委員の所属されているかわさき歴史ガイド協会にもご協力いただいて実施されます。このツアーはシニア世代の地域参加のきっかけづくりということを目的に実施されていますので、何か良い案があれば御意見いただき、来年度以降の実施内容に是非参考とさせていただきたいと考えております。

委員 今回参加される方の御意見を見てみると、自分の住んでいる身近な地域に興味を持たれている方が多いなと感じています。

部会長 それでは、第1期・第2期で取り組んできた仕掛けが、市民団体が実施する段階にまで移行してきたという事例が既にあるので、第3期についてはこの他に何か行うことはせず、見送るということによいでしょうか。

一同了解

部会長 それでは最後に、コミュニティバスの導入に移ります。

<資料2：課題解決策「コミュニティバスの導入」の内容を説明>

それでは続いて、TMOから御提出いただきました資料について、事務局の方から御説明をお願いします。

事務局 それでは参考1について御説明させていただきます。

<参考1：課題解決策「川崎駅周辺ワンコインバス構想の検討経緯」の概要を説明>

以上、簡単ではございますが資料の説明をさせていただきました。なお資料47～48ページにある公開シンポジウムについては、猪熊委員より御説明いただければと思います

す。

委員 TMOは、バスカー（路上演奏者）の活動によって川崎を音楽のまちとして回遊性を高めていこうとか、はみ出し陳列する店や自転車の問題などについて商店街としてどのように取り扱っていくべきなのか、またワンコインバス構想も含め、3つについて実現しようということで発足しました。そして先日開催されたシンポジウムでは、回遊性の高めるためにはどうすればよいかということで、ワンコインバスに焦点を当て、回遊性について専門に取り組んでいる先生から説明がありました。内容としては、川崎競馬場・川崎駅を起点として富士見球場あたりを中心としてバスを走らそうという都市構想を持っているという話がありました。そして、川崎駅から富士見公園周辺のルートでバスを走らせ、そこから大師や小田へ展開するような経路にして、それと同時に富士見公園周辺に駐輪場を設けて、国道15号から川崎駅内側には自転車を入れないなどの構想についても話がありました。私も高齢者対策としてこのような巡回バスはどのような形であれ絶対に必要なものだと、シンポジウムに参加して感じました。ただし、この問題はやればやるほど難しい問題がどんどん出てくるのも、また事実です。でも川崎市営バスにしても臨港バスにしても、実際に走っているのですから、やれないことはないと思っています。そしてこれが1つのきっかけとなれば、いろいろな形の中で交通体系が変わってくるのではないかなあと考えています。例えば、羽田構想にしてもおそらくこの取り組みと関係してくるのかなと思っています。したがって、何とか早く実現してまずは実績をつくりながらいろいろなところに結び付けていきたいと思っています。そして今度は、営利目的で専門家がやってくれればよいなと思っています。

部会長 ワンコインバスは、他の大きな都市ではいろいろと既に取り組まれていたりしますよね。

委員 なぜ川崎にはないのかという疑問から、この活動は始まりました。

部会長 会議の時間の都合もありますので、コミュニティバスの導入については引き続き検討していくということで、全体会議では資料に書かれている内容程度のものについて報告させていただくことで良いでしょうか。

一同了解

部会長 これで一通りの課題解決策について審議してきましたが、最後に1つだけ確認させてください。ベンチ・トイレについては調査を実施するのでしょうか。

委員 コースが決まったらコース上の調査は行った方が良くと思います。机上でもだいたいは分かりますが、やはり実際に歩いた方が良くと思います。

事務局 モデルコースが決まったら、そのコースについては調査した方が良くと思います。そして、ほかのコースについては、提言時にどういった内容の調査を行ってほしいと伝える形になると思います。

部会長 ベンチ・トイレについては必要性の議論がなされていません。高齢者部会としてはこれまでベンチ・トイレについて審議してきましたが、必ずしも私たちの意見が区民の意見だとは限りません。例えば、ワンコインバスについては、今回御提供いただいた資料のように調査を実際に行っております。もしかしたら、ベンチ・トイレは既に足りているので、お金をかけて設置する必要はないという意見があるかもしれません。したがって、ベンチ・トイレの設置に関しては、全体会議ではどのように報告すればよいのかと思案しています。

事務局 まずはウォーキングマップへの落とし込み作業があって、設置の必要性が出てくれば、初めてそこで議論のステップに進むという形だと思います。ベンチ・トイレ設置は特出しするのではなく、ウォーキングマップ作成の過程で、もし必要性が出てくれば、その段階で議論を開始するということがよいのではないかと考えています。

委員 そうですね。必要性が出てくるかもしれないし、出てこないかもしれない。

事務局 議論する可能性自体を消してしまうのではなく、第2段階としての位置付けということでもよろしいかと思います。

部会長 了解しました。

副区長 <お礼を述べる>

3 閉 会

部会長 どうもありがとうございました。

午後 2時00分 閉 会